

会 議 録

会議の名称	平成 19 年度 第 3 回文化財審議会
開催日時	平成 20 年 1 月 29 日(火) 15 時 00 分 ~ 17 時 00 分
開催場所	中央図書館 会議室
出席者	渋谷一夫委員、関健二委員、木藤隆太郎委員、大澤綾委員、水宮恒委員、 山田友昭委員 事務局(寺沢生涯学習課長、会田副課長、加藤主査)
欠席者	横山亮英委員
会議次第	1. 報告 (1)人間東部地区文化財連絡協議会事業報告 (2)生涯学習関係 5 委員研修交流会報告 (3)その他 2. 協議 (1)市指定文化財の指定について (2)その他
会議資料	市指定文化財の指定について 指定文化財一覧 文化財関連新聞記事等
公開・非公開	公開(傍聴人 0 人)
会議録確認	渋谷一夫委員

会議内容

あいさつ（議長）

1. 報告

(1) 人間東部地区文化財保護連絡協議会事業報告

文化財めぐりの実施 「難波田城とその周辺」をルートとして30人程度の参加

10月28日(日)実施。参加委員から報告

管外研修（富岡製糸工場等）11月30日(金)実施。参加委員から報告

(2) 生涯学習関係5委員研修交流会

1月26日(土)実施。参加委員から報告

(3) その他

文化財の被害・盗難、防災訓練について

委員：市内でも文化財防火デーにあわせた防災訓練は実施しているか。

事務局：大規模ではないが、今年度は水子貝塚資料館で実施した。

資料館事業について

2. 協議

(1) 市指定文化財の指定について

事務局より諮問文書を渡し、その後資料の説明。

《質疑・意見》

委員：「単橋」の読みは「ねずばし」でよいか。

事務局：「ねずばし」である。

委員：2件の樋門は、南畑公民館～上南畑神社～興禅寺～氷川神社～木染～乗越～佃堤につながる新河岸川左岸の自然堤防内に造られた樋門である。上流の川越や下流の志木よりも富士見市内には煉瓦造の樋門は数多く造られた訳で、それは南畑地域の水との戦いの歴史を物語るものとして重要である。

委員：門樋と樋管の名称の違いは何か。

事務局：樋門の名称には、樋門・門樋・樋管・坎樋・逆除・悪水吐等さまざまな名称が用いられている。総称としては埼玉県教育委員会の近代化遺産報告書により「樋門」としているが、個別名称としては水越門樋は銘板に刻まれた文字から、山形樋管は銘板がないため残されている設計文書に記された名称等から付したものである。

委員：水越門樋については、地元では「坎(いり)」、「水門」と呼んでいた。

委員：南畑地域は荒川と新河岸川が流れ、水害との戦いの歴史がある。特にこの点を強調することが望ましい。

委員：同感である。案内板・説明資料等にも水害との歴史を記したりして、小中学生にも是非知らせてもらえることを考えてもらいたい。

委員：文化財を保護するだけでなく、活用してこそ文化財としての価値が活きてくる。

委員：2件の樋門は南畑地域の水との戦いの歴史とともに、日本の近代化の一翼を担った深谷の日本煉瓦製造で造られた埼玉県を代表する煉瓦と関連付けられるものであり、指定することが望ましい。

出席委員協議により、指定に向けての答申（案）作成については議長に一任し、答申（案）作成後各委員の校正を行い、期日までに答申書を作成することとなった。

3. その他

なし

閉会（事務局）

